



国際ロータリー第2530地区 郡山アーバンロータリークラブ

WEEKLY REPORT

2015
↓
2016



世界への
プレゼントになろう



H28 1/20 水

◎国際ロータリー第2530地区ガバナー／酒井善盛 ◎会長／小口憲太郎 ◎幹事／蔭山寿一

第26回例会

開会点鐘

ロータリー歌

「それでこそロータリー」斉唱

四つのテスト唱和

会長挨拶

小口憲太郎会長



バスの悲惨な事故のニュースを聞いて驚いております。スキーのツアーバスが大破して多くの死傷者を出しました。運転手が慣

れていなかったとか、安い料金だったなどの報道がされています。バブル崩壊後の厳しい状況の中で、やってはいけないことに手をつけてしまう企業が出て来たものと思います。廃棄する食品を横流しするなどあり得ないことですが、一線を越えてしまうようなニュースが最近増えているような気がして心配です。ロータリーの皆さんは職業を通じて社会に貢献し、周囲も良くなっていくことを目指しております。ロータリーの活動を通じて幸せな世界を実現していくという、職業奉仕を広めることが大切であると思います。

出席報告

蔭山寿一幹事

総員	31名
出席	19名
欠席	12名
出席率	61.29%
前回修正率	67.74%

スマイルBOX報告

津野順子委員長

蔭山寿一 安中利夫さんよろしくお願ひします。

小口憲太郎／武藤起代子／大山三起雄
宮崎登志行／味戸誠一郎／高橋功
橋本弘幸／増子ふみえ／津野順子



地区大会表彰

クラブ表彰／米山功労クラブ



幹事報告

蔭山寿一幹事

- ①米山学友会より先日の学友会発表会参加の御礼が来ています。
- ②インターシティミーティングのご案内のために2月3日の例会にガバナー補佐、分区幹事、ホストクラブ会長が来られます。

プログラム／会員卓話

「郡山アーバンRC創立からの20年を振り返って」

安中利夫ロータリー情報委員長



今年度は竹浪眞理子さんが入会されました。まだオリエンテーションを行っておりませんが、竹浪さんは出席率が良く、すでにクラブに馴染んでおられるように思います。郡山アーバンRCは創立20周年を迎え、記念式典が4月16日(土)に開催される予定です。実行委員会の打ち合わせが昨日行われ、高橋実行委員長、味戸副委員長はじめ7名が集まりました。今日は創立からの20年を振り返ってみる話をさせていただきたいと思っています。

私は創立から1年後に石堂さんにお誘いをいただいて入会させていただきましたので、入会して19年が経つわけですが、チャーターメンバーの皆さんもあまり変わっておられませんし、もうそんなに経ったのかというのが実感です。入会した頃は先輩がたくさんおられたせいもあって緊張しておりましたが、本田会長が私の肩を軽くたたいて「気楽にやろうよ」と必ず声を掛けてくださいました。この経験から新会員には優しい声を掛けようと考えているのですが、なかなか実行できておりません。

入会して10年ほど経った頃の5月に、幹事をやらないかとのお願いがかかりました。通常はまず副幹事を1年間務めて翌年に幹事となるわけですが、いきなり幹事とのことでした。出席もままならない私が務めることはできないとお断りしたのですが、土屋繁之先生から「仕事優先なので休んでも良く、都合のつかない時は代わりがいる。仕事で休んでも幹事が務まるという前例を作ってもらいたい」との電話をいただき、そこまそこまで言っていただくと引き受けさせていただきました。ちょうど10周年の長尾会長年度でした。長尾さんは毎週の例会での会長挨拶のために、美しい文字の手書

●例会日／水曜日 12:30 ●例会場／ホテルハマツ 郡山市虎丸町3-18 TEL.024-935-1111

●事務所／〒963-8001 郡山市大町1-2-17 大ービル1F TEL.024-923-0847／FAX.024-939-5678

【ホームページ】<http://k-urb.ri2530.jp>

きの原稿を用意されていました。幹事は女房役として事務的なことをてきぱきとこなさなければならないのでしょうけれども、絵を描かれる芸術家の長尾さんが実務の能力も持っておられることに感心させられました。あとで中央テレビの報道局長をされたことをお聞きして納得いたしました。

長尾会長年度の10周年記念式典には友好クラブである岸和田東RCの皆さんに大勢おいでいただきました。バスを仕立ててまだ雪が残る裏磐梯と一緒に回りました。その年の岸和田東RCの周年記念式典にお招きいただき、会長と数人の会員の皆さんと共に岸和田に行き、式典の翌日は高野山にバスで案内していただきました。私は初めて訪れたのですが、テレビで見るのとは違ってとても良い経験をさせていただきました。幹事を経験させていただいたことを、今ではありがたく思っています。それまでは恥ずかしがり屋の性格のために打ち解けることができませんでしたが、幹事としての職務上、あまり話をしなかった方々とも事務連絡などから話をするようになり、非常に親しくさせていただくようになり、例会に来ることが楽しくなってきました。これは幹事の効用であると思います。幹事を経験することによってロータリーが身近になり、出席が楽しくなるものと思います。

通常は副会長、会長エレクトの後に会長になるものですが、それから5年後にまた突然、それらを経験しないまま会長をとの話が来ました。幹事は引き受けたものの、会長となると荷が重いとお断りしたのですが、味戸さんから「いずれやらなければならないのだから、やってみてはどうか。手伝いますから」と言われて、清水の舞台から飛び降りるような気持ちでお受けし、宮崎さんに幹事を務めていただきました。

5年前の私の会長年度は大変暑い夏でした。会長挨拶で7月から9月頃まで

毎回のよう「この猛暑の中をお集まりいただきましてありがとうございます」と言っていました。明治以来の観測史上、日本中が記録的な最高気温でした。30度を越す夏日どころか、35度以上の真夏日が郡山でも10回以上あったと思います。最近では温暖化のせいで猛暑日が定着して驚かなくなりましたが、本当に暑い夏であったことをよく記憶しています。

ガバナー公式訪問から始まっているいろいろな行事があり、新年会、IMを終えて、そろそろ終わりかと思っていた時に、3.11が起きました。当時の合同事務局は古い商工会議所の4階にありました。7クラブ合同の事務局で、7年に1回ずつ持ち回りで事務局担当になっており、たまたまその年は郡山アーバンRCが担当でした。建物は被災して立ち入り禁止となったため、担当クラブとして新しく事務局を探さなければなりません。7クラブの会長・幹事が何度か集まって話し合い、移転先候補地の2、3ヶ所を私も見て回りました。最終的には郡山RCの初瀬さんに大変お世話になって、現在の大町に移転することとなり、引越しのために各クラブの会長さんにも手配してもらいました。事務局の國分さんも恐怖の中を大変だったと思います。例会場のホテルハマツもしばらく使えないことになりました。例会の連絡をするにも通信手段がありませんでしたので、宮崎さんをお願いしてITを駆使して例会案内などをしていただきました。

私が幹事の時には3、4回ほど例会に出られないことがあり、当時の副幹事の蔭山さんに代行をお願いして気持ちよく受けていただきましたが、会長の時は不思議なことに1回も休まずに出席できました。無事になんとか1年間過ごすことができたことと共に、出席だけは良くてきたと思っています。会長や幹事を経験すると、皆さんが出席してくださることが本当にありがたいという気持ちに

なります。その経験から私も出席しなければと思っておりませんが、出席できない言い訳を最後に言わせていただきたいと思います。

私は司法書士として土地の登記などの仕事をしておりますが、社団法人公共嘱託登記司法書士協会の役も承っております。震災被害により高台に住まいを移すためや、中間貯蔵施設などのためにも広大な土地が必要ですが、地元の地権者が大勢いることから、団体として委託を受けることになります。その団体の職を受けていることから、個人の仕事以外に、公共機関の仕事のために福島の出先機関に行かなければならないこともあり、例会に出席ができないことがあります。今年も20周年もありますので、楽しくやっていければと思います。

私は年間50回近くある例会の中の1回くらいは、特にプログラムを設けずに、食事だけの例会があっても良いのではないかと考えておりました。特に会員卓話の担当の方はゆっくり食事することができませんので、セレモニーの後にはゆっくり話をする例会があっても良いのではないかと考えておりましたが、私が会長の時には勇気がなくて実行できませんでした。楽しく仲良くすることがロータリーであると思いますので、これからもよろしくお願ひしたいと思っています。

◎ロータリー財団寄付者

小口憲太郎／高橋功／武藤起代子
増子ふみえ／橋本弘幸／宮崎登志行
大山三起雄

◎米山記念奨学会寄付者

小口憲太郎／白岩邦俊／増子ふみえ
味戸誠一郎／高橋功／宮崎登志行
武藤起代子／橋本弘幸／蔭山寿一
津野順子

◎ポリオ寄付者

小口憲太郎／橋本弘幸／宮崎登志行
武藤起代子／蔭山寿一

Rotary 

閉会点鐘